資料④

2021.01.18

■各委員発言記録要旨

| 質問 | 委員から出された意見 | 方向性等概要（案） |
| --- | --- | --- |
| アフターコロナを踏まえたまちづくりの方向性への反映について | 1）「コロナにも対応した新しい働き方ができるまち」を方針に入れてもいい。 | まちづくりの方針に「新たな生活様式」「新しい働き方」、  将来像2に「新たな生活様式に対応した」「新しい働き方への対応」を記載 |
| 2）「新しい働き方」は今後も変わっていく。サテライトオフィスなど「新しい働き方」を方針に入れてほしい。 | まちづくりの方針に「新たな生活様式」「新しい働き方」、将来像2に「新たな生活様式に対応した」「新しい働き方への対応」を記載 |
| 3）モビリティとサスティナビリティは今後重要になる。 | まちづくり方針に「新しい日常に対応した」、将来像2に「自動車いす等のパーソナルモビリティの活用等」を記載 |
| 4）職住近接が加速し、５Ｇが日常で使えるようになると、わざわざ都心に出なくても、八王子等の自然を楽しみながらゆったりと暮らすことが可能になる。 | まちづくり方針に「職住近接によるゆとり」を記載 |
| 5）アフターコロナよりも「ポスト・コロナ」を重要視する。「ポスト・コロナ」のニーズは気持ちの良い空間や憩い、自然との共生かと思う。 | 将来像1に「自然との共生を生むようなゆとり」を記載 |
| 6）「にぎわい」ではなくオープンスペース、なんとなく人が集まる集いやすい場所・空間が必要。 | まちづくり方針に「ゆとりのあるオープンスペース」、将来像1に「ゆとりのあるオープンスペース」を記載 |
| 7）「にぎわい」はまちづくりの観点から重要であったが、今は難しい。「憩う」と「にぎわい」は関連させられるか。 | 将来像1に「憩える」を記載 |
| 8）「新たな交流が生まれるまち」を取組みの中から求められるように整理が必要。 | 将来像3に「新たに」「新たな交流を促進」を記載 |

　※他に出された意見は、まちづくり方針（素案）に反映することで検討いたします。